

## **就労定着支援事業実践研修会の抜粋**

**平成 3 0 年 1 2 月 1 4 日**

**千葉県健康福祉部障害福祉事業課事業支援班**

# 目 次

## 第 1 就労定着支援事業の概要

- 1 就労定着支援の実施に当たって
  - (1) 就労定着支援の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - (2) 個別支援計画及び同計画の見直し時期について・・・・・・・・ 3
  - (3) 個別支援計画作成に当たっての留意点について・・・・・・・・ 3
  - (4) 就労定着支援の利用推奨について・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 就労定着支援事業所と地域障害者職業センターとの関係について
  - (1) ノウハウの提供と支援との関係・・・・・・・・・・・・ 4
  - (2) 職場適応援助者による支援事業との関係・・・・・・・・・・ 5
  - (3) 訪問型職場適応援助者養成研修の受講及び訪問型職場適応援助者の配置について・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3 就労定着支援事業所と障害者就業生活支援センターとの連携・関係について
  - (1) 就労定着支援の利用期間中における障害者就業・生活支援センターと就労定着支援事業所の関係についての基本的な考え方・・・・・・・・ 5
  - (2) 就労定着支援事業所が支援センターの協力を得ることが可能な場合・・・・ 6
  - (3) 就労定着支援の利用期間終了後に利用者を支援センターに引き継ぐ場合の留意点・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 4 就労定着支援事業者に求められていることについて・・・・・・・・ 7

## 第 2 就労定着支援事業に係る基準条例の概要について

- 1 人員基準の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2 設備基準の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 3 運営基準の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

## 第 3 就労定着支援事業の課題(平成 30 年 12 月 14 日現在)

- 1 利用開始(準備)に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 2 運用に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 3 利用終了(準備)に当たって・・・・・・・・・・・・・・ 11

## 第 4 参考資料

- 就労定着支援に係る Q & A や障害者の利用者負担等・・・・・・・・ 12

### 第3 就労定着支援事業の課題(平成30年12月14日現在)

#### 1 利用開始(準備)に当たって

- 全般的な就労定着支援の進め方、流れ、加算の内容についての把握
- 利用者負担の理解(負担が発生した場合、サービスを利用するかどうか等)
- サービス利用までの手続き負担(又は煩雑であること)に対する説明
- 就労定着支援に係る制度上の留意点の把握
  - ・ 自法人(又は自事業所)以外の障害福祉サービスを利用し、就労した障害者に支援を行う場合の事業所間の連携
  - ・ 就労移行支援等の職場定着の義務・努力義務である6月を経過する前の対応(就労定着支援事業所の関与、相談支援事業所の関与等)
- 市町村との連携 / 相談支援事業所との連携
- 定着支援に対する企業の関心、理解への啓発

#### 2 運用に当たって

##### 【事業運営】

- 利用者の確保、支援員の業務配分

##### 【支援】

- 広範な障害特性の理解と効果的な支援の方法、具体的な事例・ノウハウの蓄積
- 生活面の課題解決(家族問題、余暇活動、基本的生活)⇒就労面以外の課題
- サービス利用の契約更新時の対応
- 就労定着支援の利用のメリットの説明。家族等への関係(支援)確認
- 個別支援計画、支援記録の形式

##### 【連携】

- 支援機関・特別支援学校等との連携の方法(連携を進める上でのイニチアチブ、個人情報共有、取扱い等)
- 市町村や相談支援員との連携のための会議の場の設定等
- 障害者就業・生活支援センターと連携し支援していた方が利用する場合の対応

##### 【企業】

- 企業への理解を深める方法(職場への支援内容(利用者への接し方・アプローチの方法、面談や声掛けの必要性)の説明方法、その頻度。支援介入度)
- 企業訪問を拒否される場合の対応、企業担当者の異動等の対応
- 面談の場の設定(毎月の企業訪問の限界、勤務時間内の訪問・面談はNG等)

#### 3 利用終了(準備)に当たって

- 就労定着支援の利用終了者への対応(本人への支援頻度や支援担当変更の説明、企業への周知)
- 障害者就業・生活支援センターへの引継ぎ(引継ぎ時期やその必要な期間。)

## 第4 参考資料

### 就労定着支援に係るQ & A

- ・「平成30年度障害福祉サービス等報酬改定等に関するQ & A VOL. 2（平成30年4月25日）」の送付について（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課通知）の問1→復職者の就労定着支援の利用可能について掲載

### 障害者の利用者負担（厚生労働省ホームページより）

○月ごとの利用者負担には上限があります。

障害福祉サービスの自己負担は、所得に応じて次の4区分の負担上限月額が設定され、ひと月に利用したサービス量にかかわらず、それ以上の負担は生じません。

区分	世帯の収入状況	負担上限月額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得	市町村民税非課税世帯 <sup>(注1)</sup>	0円
一般1	市町村民税課税世帯（所得割16万円 <sup>(注2)</sup> 未満） ※入所施設利用者（20歳以上）、グループホーム利用者 を除きます <sup>(注3)</sup> 。	9,300円
一般2	上記以外	37,200円

（注1）3人世帯で障害者基礎年金1級受給の場合、収入が概ね300万円以下の世帯が対象となります。

（注2）収入が概ね600万円以下の世帯が対象になります。

（注3）入所施設利用者（20歳以上）、グループホーム利用者は、市町村民税課税世帯の場合、「一般2」となります。

○所得を判断する際の世帯の範囲は、次のとおりです。

種 別	世帯の範囲
18歳以上の障害者 （施設に入所する18、19歳を除く）	障害のある方とその配偶者
障害児 （施設に入所する18、19歳を含む）	保護者の属する住民基本台帳での世帯

○以下の内容については、関係会議等において、支援機関の実践事例や、企業からの意見などについて、一部内容を加工した上で、参考として掲載したものである。

#### 本人支援

- ・ 自己紹介シートの作成（配慮してほしいことを記載）、1週間振り返り面談の提案
- ・ 障害者が働くための必要な介助や情報保障等の合理的配慮の職場環境を整備する上で、障害者の意向を尊重するための建設的対話の設定の枠組みの提案
- ・ 年1回の合理的配慮の確認ルール化への提案

#### 研修内容のアドバイス

○障害者本人に対して、仕事に係る研修の充実策

##### 【研修内容】

- ・ 入社時（入社時説明・生活マナー、就業規則等）
- ・ OJT
- ・ コンプライアンス
- ・ 健康管理
- ・ コミュニケーション
- ・ スキルアップ
- ・ 差別の禁止、合理的配慮

○管理職等の研修の充実策

##### 【研修内容】

- ・ 作業体験、障害に関する基礎知識、
- ・ 社外研修（障害者就労施設等へ訪問研修）
- ・ 法令（労働基準法、障害者雇用促進法等）、コミュニケーション
- ・ 合理的配慮と特別扱いの区別に迷った場合の相談方法、人事（予算）管理、
- ・ 医療機関との連携

○採用後の合理的配慮について

##### 【採用後の合理的配慮】

- ・ 勤務時間、休憩時間
- ・ 作業内容
- ・ 配置方法（異動等）
- ・ 相談、面談の方法・場所・時間（定期的な実施の志向）
- ・ 作業環境、設備、機器等（空調、駐車場等）
- ・ 通勤時間・手段
- ・ 通院日時の調整
- ・ その他（生活面、住居等のネットワーク構築・活用）

## ○支援のイメージ

	就職	6 か月後	3 年 6 か月後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就労移行支援</li> <li>・ 就労継続</li> <li>・ 生活介護</li> <li>・ 自立支援</li> </ul>	義務・努力義務による定着支援	就労定着支援期間 (最大 3 年間)	障害者就業・生活支援センター等による定着支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者就業・生活支援センター</li> <li>・ その他</li> </ul>	障害者就業・生活支援センター等による定着支援		

## <障害者就労・生活支援センター登録者及び相談件数>

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
登録者	4,984 人	6,049 人	6,910 人	8,047 人	8,754 人	9,817 人
相談件数	32,232 件	32,932 件	32,143 件	59,306 件	64,452 件	86,016 件

## <就労定着支援のイメージ図>

